

「寒河地区社会福祉協議会

(地区社協)とは??」

多くの人々は高齢者になっても、心身に障がいがあっても、親しみのある住みなれた場所で、安心と幸せを感じ暮らし続けることを願っています。

その為には、地域の皆さんや、町内会長・民生児童委員・福祉委員がスタッフとなり、備前市社会福祉協議会(備前市社協)や専門機関と連携・協働しながら地域の福祉課題の解決に向けて協議し、寒河地区の誰もが安心して住み続けることができる地域づくりを目的として活動する地元住民主体の活動組織団体です。

5/11(土)

関西福祉大学にて行われた、地域連携フォーラムに16名の地区社協スタッフが参加しました。基調講演にて、脳科学者の茂木健一郎氏による「いつからでも脳は鍛えられる」を聴講しました。

6月初旬

第1回友愛訪問を行いました。75歳以上の独居高齢者及び80歳以上の連れ合いをなくされた方を対象とし、熱中症予防のため飲料水を配布しました。

飲料水をいただき、ありがとうございます。就寝前に飲んだり、趣味のスポーツに持っていきます。毎日元気で、皆とおしゃべりしたりして、楽しい日々を過ごします。



塩分補給 水分補給 十分休養
熱中症知らずの3原則



寒河地区社協だより

令和2年

3月30日

第2号

寒河地区社会福祉協議会 会長 川平章

1/14(火)

日生幼稚園にてどんど焼き・ふれあい遊びを行いました。

今年度は、こども園の建築により日生保育園の園庭にて、地区社協スタッフや地域の方々と共に、例年より少し小さめのやぐらで行いました。やぐらの囲りにお神酒を撒いて清め、お正月飾り、自分で書いた書初めや絵を入れ、幼稚園園長先生と1月生まれの園児が点火しました。無病息災を祈りながらどんど焼きが燃える様子を見守ったあとは、おもちを食べたり、昔遊びを通して園児たちと交流を深めました。



<研修会報告>

9/6(金)19時から火災報知器設置について、東備消防署の方にお話をいただきました。



2/8(土)

13時30分からみんなで支え合うまちづくりフォーラムへ、スタッフ6名が参加しました。



寒河地区社協スタッフ一同、令和2年度も地域のみなさまの安全・安心なまちづくりを目指して活動をしていきたいと思ひます。地域の福祉に関する困りごとを解決につなげていくため、今後もさまざまな活動を推進していきたいと思ひます。

活動に対してのご提案やご意見がありましたら、ご遠慮なく地区社協スタッフへお知らせください。

今後とも、よろしくお願ひいたします。

寒河地区社協 広報編集部一同
発行責任者 事務局長 川本満美子



4



11/22 (金)
 日生東小学校4年生を対象に、出前福祉体験を行いました。
 地区社協のスタッフも一緒に、車いす体験と高齢者疑似体験のサポートを行い、車いすの操作方法や高齢者の不便さを改めて感じる機会となりました。



7/5 (金)
 日生幼稚園にて、七夕会を行いました。地区社協スタッフや地域の方々と共に、園児が野菜に割り箸やマッチ棒をさし、動物を作りました。出来上がった動物たちを笹飾りの前に並べ星の神様にお供えしました。



12/22 (日)
 第2回友愛訪問を行いました。
 75歳以上の独居高齢者及び80歳以上の連れ合いをなくされた方を対象とし、女性スタッフは、毎年恒例の手作りちらし寿司を前日より準備をし、当日対象者へ配布しました。
「とても美味しい!!」と評判で楽しみに待っていています。
 友愛訪問は、住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、見守りや声かけ、孤独感の解消などを目的に行っています。



大好評の手作り
 ちらし寿司!!
 具もたくさん♡



火災報知器設置について
 住民の安全・安心を確保するため東備消防署と協力し、住宅用火災報知器の共同購入の斡旋を行いました。寒河地区全体の防災対策に取り組むきっかけとなり、250個余りの購入があり、希望者の方は東備消防署の方が取付をしてくださいました。



9/29 (日)
 寒河地区敬老会を開催しました。対象は75歳以上の高齢者の方で、寒河地区の対象者は388名で、参加された方は104名でした。
 日生幼稚園児のお祝いの歌・劇団たんぽぽ座の演劇・中国発祥の変面・ビンゴ大会と多くの催し物で大盛況の内に幕を閉じました。



地区社協の運営について
 社協会費及び赤い羽根・歳末たすけあい募金の協力額の一部が活動の財源となっております。ご協力ありがとうございました。
 令和元年度 寒河地区内のみなさまの協力額
 社会福祉協議会賛助会費 400,000円 赤い羽根共同募金 399,050円
 歳末たすけあい募金 399,050円

